

# 広島県の学校支援地域本部の取組例

## 尾道市学校支援地域本部

平成20年度  
実施スタート

### ねらい

- 学校に地域住民がかかわることにより、子どもに多様な体験や経験の機会を拡充し、子どもの規範意識やコミュニケーション能力の向上を図る。
- 地域住民の協力を得ることにより、教員が子どもと向き合う時間を確保し、学校教育の支援を図る。
- 地域住民の知識や経験を生かす場を広げ、生涯学習社会の実現や地域教育力の向上を図る。

### 取組のポイント

- 効果的な事業の展開を図るため、各小学校に学校、PTA、町内会等で構成する地域協議会を設置、中学校区全体の事業に係る協議及び検討を行うため、実行委員会を設置（事務局は、教育委員会）
- 学校と地域ボランティアとの調整を行う地域コーディネーターを小学校に配置「学校支援ボランティアの主な活動」  
ミシンやそろばんを使った学習指導の支援、わら草履作りや伝統芸能の部活動指導、校内にある観察用の池の清掃等の環境整備、登下校時の安全指導



【そろばんの指導】

### 《児童の声》

困っていると、ボランティアの方が親切に教えてくださったので、よくわかりました。

### 《ボランティアの声》

子どもたちの理解の早さに驚きました。子どもたちや先生方の楽しそうな表情を見ていると私たちも元気が出ます。機会があればまた参加したいと思います。



【書写の指導】

### 成果と課題

- 学校のニーズと地域の人材の意欲とのマッチングができたことにより、支援内容が充実した。
- ボランティアが授業の補助に入ることによって、きめ細かい指導が出来るようになり児童の理解が深まった。
- ボランティアの方から「学校に行く元気もらえる。」とのやりの声が寄せられ、生きがいづくりに寄与できている。
- 学校経営の基本として、学校支援地域本部事業の仕組みを、より確かな位置づけにしていけることが必要である。
- 関係者の一部に負担がかり過ぎないように、コーディネーターを複数にする等の対応が必要である。
- 多様で幅広い年齢層のボランティア人材の確保が必要である。

## 東広島市学校支援地域本部

平成21年度  
実施スタート

### ねらい

- これまで学校・家庭・地域そして大学が一体となって子どもの健全育成を図っていくことを目的として、地域全体で学校を支援する連携協力体制を構築する。
- 今後さらに学校教育活動と社会教育活動とが互いに融合しあう学習環境を整え、社会全体で子どもを育てていく気運を高めていくこととする。
- 三ツ城小学校区の取組をモデル事業として効果的な学校支援方策について、市内全域に広報啓発していくとともに、平成23年4月に開校する中央中学校の地域力の基盤形成を図り、本市のさらなる教育活動の活性化に結びつけていく。

### 取組のポイント

- 学校支援ボランティア養成講座（全2回）  
（救命救急法、不審者対策等の実施）
- 生涯学習担当者研修（教職員対象）  
（学校支援地域本部事業の事業説明、本市の取組の方向性についての実施）
- 三ツ城小学校区地域協議会の設置  
（具体的な支援内容や支援方策の協議、リーフレットの作成）



【登下校指導】

### 《先生の声》

普段なかなか経験できない体験学習の機会が増えることで、子どもたちの興味・関心が広がりました。ゆとりの時間ができ、子どもたちとしっかり向き合う時間が増えました。

### 《児童の声》

地域の人たちの細やかな指導で、今までにできないことができるようになりました。たくさんの人たちとふれあって、地域がとても好きになりました。



【黒瀬川親子釣り大会】

### 成果と課題

- これまでの学校支援がそれぞれの分野で連携をしていた点の動きから、情報を集約して取り組む面の動きに整理できた。
- 地域コーディネーターが中心となり、学校と地域の方々が事業を理解し、学校と地域の関係が、強固なものになった。
- 新たな人材の育成や活動拠点の確保を行い、児童生徒の健全育成を市民総ぐるみで取り組める体制づくりを構築する。

## 三次市学校支援地域本部

平成20年度  
実施スタート

### ねらい

吉舎中学校区において、住民が学校を支援する活動を通じて、学校、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子育てをする体制を構築する。

### 取組のポイント

- 中学生によるボランティア活動「ボランティア手帳の作成」  
作成した手帳を持参し、中学生がボランティアを行ったらスタンプをもらうことで、中学生に達成感を醸成させる。
- 学校図書館整備  
PTAをはじめとする地域の力で学校図書館整備を行う。
- 小学校における総合的な学習の時間（環境学習、食育等）の学習支援活動

### 成果と課題

- 中学生と地域住民が、顔と顔のつながりを持つことができた。
- 地域活動に中学生が参加したことで、イベント自体に活気がみなぎり、関わった人たちが期待感をもつことができた。
- 図書館がきれいになり、多くの人が学校に関心を持つようになった。
- 中学校での取組がモデルとなり、小学校での実践に結びついた。
- 学校支援地域本部事業の取組の成果の普及を行う。
- 学校支援ボランティアの育成を行う。

**学校の図書館をねらいにしよう!**

平成20年12月12日(日)、吉舎中学校区で平成20年度学校支援地域本部事業の取組の成果発表会が行われました。当日は、地域住民や関係者約100名が参加し、学校支援地域本部事業の取組の成果を発表しました。

**取組の成果**

- 図書館の整備が完了し、多くの人が学校に関心を持つようになった。
- 中学校での取組がモデルとなり、小学校での実践に結びついた。
- 学校支援地域本部事業の取組の成果の普及を行う。
- 学校支援ボランティアの育成を行う。

## 廿日市市学校支援地域本部

平成21年度  
実施スタート

### ねらい

地域に根ざした教育環境づくりを学校教育の場での「支援」といった形で具現化し、教員や地域の大人が子どもと向き合う時間の拡充と地域の子どもたちは地域で育てる態勢づくりの強化並びに子どもたち一人ひとりが「生きる力」を身につけることを目指す。

### 取組のポイント

- 学校・地域の情報が共有できる仕組みと双方の事業の展開
- 「誇れる学校・地域」の拠点づくり
- 子どもたちの「達成感・役立ち感・充実感」の醸成

	学習支援	体験活動	その他
事業例	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の読み聞かせ</li> <li>図画工作、書写、家庭科等実技指導学習支援</li> <li>校外学習支援</li> <li>新1年生学級定着支援</li> <li>中学生学習会支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後子ども教室</li> <li>生活科・総合的な学習の時間でのさまざまな体験活動支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境整備支援</li> <li>地域イベントでの活動支援</li> <li>登下校の見守り、あいさつ運動</li> <li>地域清掃</li> <li>情報誌発行</li> </ul>

### 「支援内容」

- 中学生が事前に地区ごとに集会をもち、地域清掃について、地区の代表者と協議し、清掃計画を作成した。
- 地域清掃前には、地区の代表者を学校に招き、地区ごとに地区の代表者と中学生全員で、清掃当日の打合せを行った。
- 地域清掃当日は、小学6年生も参加し、地域の方と一緒に清掃活動を行い、子どもたちが「達成感・役立ち感・充実感」を得ることができた。



【地域清掃】



【総合的な学習の時間（竹炭作り）】

### 「効果的な事業執行への配慮」

- 学校のニーズに合わせた支援活動が、地域の教育力を十分に発揮して行えるよう、綿密な協議、連絡調整を行う。
- 本事業の取組状況、学校理解の促進、子育てに関する情報等を地域に提供する。

### 成果と課題

- 環境美化や学習支援で、多様な知識や経験を持った地域の方々とのふれあい機会が増え、学習機会や学習活動が広がったことが、子どもたちの総合的な成長に繋がった。
- 子どもたちは、地域の人から励まされ、自分を見てくれていると感じることで、授業や補修に集中する時間が増えた。
- 地域の方が今まで以上に学校教育に関心を持つようになった。
- 市内のすべての学校において学校支援地域本部事業が効果的に実施されるよう、地域内における関係団体・機関等と十分な事前調査と調整を行い、本部の新規設置を目指す。